

Partner

[パートナー]

Vol.18

2025.FEB

— 各診療科の医師が専門分野を伝える —

・泌尿器科部長・
遠藤 瑞木



4K解像度の内視鏡、
単回使用フレキシブルスコープなど
手術機器を更新・新規導入

・泌尿器科副部長・
吉野 喬之



KOYAMA MEMORIAL HOSPITAL

● 紹介患者さんの受診方法について

小山記念病院では、地域の医療機関との連携を充実するために地域医療連携室を設置しており、他の医療機関からの紹介患者さんの対応、患者さんのお住いの近隣の医療機関への逆紹介を行っています。当院へご紹介の際は、患者さんに紹介状をご持参いただいた際の受診を推奨しておりますので、ご協力をお願いいたします。診療の経過や状況等の詳細は14日以内に担当医よりご報告をいたします。別途の追加の詳細をご希望される場合は、個別にご連絡ください。

医療機関より、下記にご連絡いただければ、
地域医療連携室にて事前予約をお取りします。
「**受診予約申込書**」と「**診療情報提供書**」(様式は問いません)を
事前にFAXをお願いいたします。

《地域医療連携室直通 医療機関専用ダイヤル》
TEL. **直通① 080-3249-8519** **直通② 080-3249-8529**
FAX.0299-88-2211

予約なしで直接ご来院された際は、状況により当日診察をお受けできず、翌日以降のご予約をお取りさせていただく場合があります。

紹介状持参患者さん 予約取得フロー

1 医療機関より地域医療連携室直通ダイヤルに、連絡をお願いします。

受付時間	月曜日～金曜日	9:00～17:00
	土曜日	9:00～12:00

2 受診予約申込書と紹介状をFAXで送信してください。
FAX.0299-88-2211 (地域医療連携室直通)
※ FAX受信は24時間受付可能ですが、受付時間外の場合、予約取得は翌営業日の返信となります。

3 ・折り返し地域医療連携室より紹介元医療機関へご連絡をいたします。
・予約を取得し診療予約票をFAXにて送信します。(できる限り15分以内にご連絡します)
※診療科によっては、医師の確認が必要なため時間がかかる場合があります。

4 予約日に、診察予約票と紹介状原本をご持参いただき、
11番「紹介状窓口」にご来院していただきますよう、
ご案内をお願いいたします。

患者さん自身で予約取得

紹介状原本をお渡しいただき、
紹介状予約患者さん専用ダイヤルのご案内をお願いします。

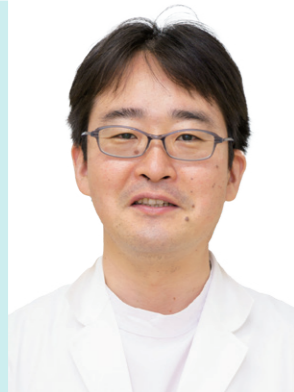
受付時間	月曜日～金曜日	9:00～17:00
	土曜日	9:00～12:00

TEL.0299-88-2233 (紹介状予約患者さん専用ダイヤル)

各科緊急連絡先

緊急の場合は、下記の医療機関専用ダイヤルへご連絡ください。
・脳神経外科ホットライン 080-8815-5322 (24時間対応)
・循環器科ホットライン 080-1078-6668 (24時間対応)
・整形外科ホットライン 080-9159-6089 (月～土/8:00～20:00迄)日・祝を除く
・上記以外の診療科 0299-85-1133 (地域医療連携室直通)
※月～金/9:00～16:00、土/9:00～11:00 日・祝を除く





・泌尿器科副部長・
吉野 喬之

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、同指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医

ピックアップドクター

Pick up Dr.



各診療科の医師が専門分野を伝える

・泌尿器科部長・
遠藤 瑞木

日本泌尿器学会認定泌尿器科専門医



□ 2023年度 泌尿器科手術件数

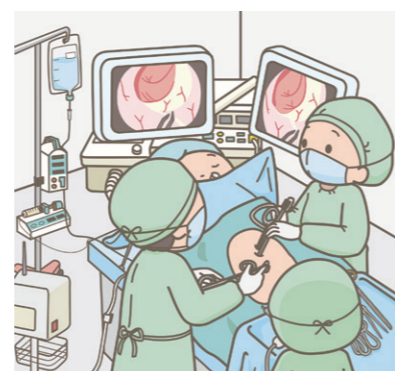
名称	件数
経尿道的尿管ステント留置術	108
経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	76
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	64
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	32
経皮的尿路結石除去術	19
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	18
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用）	18
経尿道的前立腺吊上術	18
膀胱結石摘出術（経尿道的手術）	14
精巣摘出術	10
陰嚢水腫手術（その他）	8
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	8
尿道狭窄内視鏡手術	5
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	5
経尿道的尿管狭窄拡張術	4
経尿道的前立腺核出術	3
膀胱異物摘出術（経尿道的手術）	2
包茎手術（背面切開術）	2
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	2
腎（尿管）悪性腫瘍手術	1
経尿道的尿路結石摘出（透視下にバスケットワイヤーカテーテルのみを用いて摘出を行った場合）	1
経尿道的電気凝固術	1
尿膜管摘出術	1
膀胱瘻造設術	1
精巣上体摘出術	1
精巣悪性腫瘍手術	1
腹腔鏡下尿膜管摘出術	1
合計	424

患者さんにあった治療を提供できま
す。

腎結石はE-CIRSで
治療回数・合併症を軽減

尿路結石については、体外衝撃波（ESWL）と内視鏡手術（TUL・経尿道、PNL・経皮）を従来から行っ

ています。大きな腎結石については、治療効果と安全性を高めるため経皮的＋経尿道的碎石術を同時に行うE-CIRSを行っています。これまで数回の治療が必要であったような腎結石に対する治療回数の減少、術後の腎盂腎炎といった合併症の軽減が期待されます。



膀胱全摘術が必要な
膀胱がんでは
術前化学療法を実施

手術については、機器の更新、新規の導入を行っています。内視鏡システムの更新がなされ、4K解像度の映

いつも貴重な症例をご紹介いただきありがとうございます。
2024年4月から副部長に就任しました吉野喬之です。2023年4月に常勤医3人に増員し、2024年4月から後期研修医1名を受け入れ、常勤医4人体制となりました。筑波大学と国際医療福祉大学成田病院からの非常勤医師の外来も継続しており、月曜から土曜まで2診体制での外来、手術など地域のご期待に応えるべく体制を強化しています。

像での腹腔鏡手術が可能となりました。より繊細で正確な手術が可能になると期待しています。経尿道的尿管碎石術に必要な軟性尿管鏡については、単回使用フレキシブルスコピー（LithoVue）を導入したことで、同日に複数の手術を実施できるようになりました。量、質とも常にアップグレードしていきたいと考えています。

膀胱全摘術が必要な膀胱がんに対して術前化学療法が行われます。膀胱全摘術はロボット手術支援下に行われることが多くなり、高次医療機関に依頼することが多いですが、そのような場合でも術前化学療法を当院で行い、術後の経過観察をするケースが多いです。通院の手間や副作用発生時の緊急時の対応などにおいて、患者さんへのメリットも大きいと感じています。

新たな化学療法が
外来で対応可能に

新たな化学療法についても外来化学療法室を活用しながら積極的に取り入れています。転移性膀胱がんに対するアベルマブ維持療法や、2024年9月に保険適応となったエンホルツマブベドチン＋ペムブロリズマブを導入しました。転移性前立腺がんに対するいわゆるトリプレット療法（去勢、ダロルタミド、ドセタキセル）も外来化学療法にて行っています。

前立腺肥大症に対する低侵襲手術である経尿道的前立腺吊り上げ術PUL（ウロリフト®）も順調に症例数を増やしており、経尿道的前立腺切除術TURP、経尿道的前立腺核出術TUEBという従来の術式の中から

4K解像度の内視鏡、単回使用フレキシブルスコープなど
手術機器を更新・新規導入